神奈川県立病院機構第三期中期目標の考え方

県の保健医療政策のめざすすがた(第7次県保健医療計画 2018~2023)

- ・誰もが高齢になっても元気で生き生きとくらせるとともに、医療や介護が必要となった場合に、住み慣れた地域で安心して療養しながらくらせるよう、急性期から在宅 医療・介護まで一連のサービスが切れ目なく適切に受けられる神奈川の実現を目指す。
- ・地域の限られた資源を有効に活用し、効率的で質の高い医療提供体制の整備、地域包括ケアシステムの推進とともに、それらを支える人材の確保・養成を図る。
- ・「最先端医療・最新技術の追求」、「未病を改善する取組み」及び「イノベーションを生み出す基盤づくり」を通じた新たな社会システムの形成や健康寿命を延ばす取組みとも連携し、健康な人を増やすなど、医療・介護ニーズの伸びの抑制を図る。

第三期中期目標期間において病院機構が果たすべき役割

- ≪基本的役割≫ (定款、保健医療計画等)
 - ①高度・専門医療の提供、研究開発の推進
 - ②広域的な対応が必要な救急医療、災害時医療、感染症医療の提供
 - ③地域だけでは実施が困難な医療の提供
 - ④医療従事者の人材育成

≪役割を果たしていくための姿勢≫

- ・患者・家族・地域から信頼される、安心・安全で良質な医療を継続的に提供
- ・地域包括ケアシステムの構築及び地域医療構想の実現への貢献
- ・県の保健医療施策との連携
- ・業務運営の効率化・財務内容の改善を図り、安定した経営基盤を確立



≪将来に向けた視点≫

経営改善により安定した経営基盤を確立しつ つ、将来(2040~2050年)を見据え、県立病院 の将来像を検討する。

中期目標の構成(案)

前文・背景

- ・第二期中期目標期間の評価・課題
- ・第三期中期目標における病院機構の基本的な役割
- ·長期的展望
- 第三期中期目標の方向性

- 第1 中期目標の期間
- 第2 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項
 - 1 質の高い医療の提供

各病院の医療機能及び病床数

- (1)足柄上病院
- (2)こども医療センター
- (3)精神医療センター
- (4)がんセンター
- (5)循環器呼吸器病センター
- (6)各病院の病床数について
- 2 質の高い医療を提供するための基盤整備
 - (1)人材の確保と育成
 - (2)地域の医療機関等との機能分化・連携強化
 - (3)臨床研究の推進
 - (4) | CTやA | などの最先端技術の活用
- 3 患者や家族、地域から信頼される医療の提供
 - (1)医療安全対策の推進
 - (2)患者満足度の向上と患者支援の充実
 - (3)災害時の医療提供
 - (4)感染症医療の提供
 - (5)第三者評価の活用
- 4 県の施策との連携
 - (1)県の施策との連携・協働
 - ・ヘルスケアニューフロンティア、未病改善、モデル事業等への協力
 - (2)将来に向けた検討(足柄上病院、循環器呼吸器病センター)
- 第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項
 - 1 適正な業務の確保(内部統制体制の整備)
 - 2 業務運営の改善及び効率化(PDCAサイクルが機能する指標設定)
 - 3 収益の確保及び費用の節減
- 第4 財務内容の改善に関する事項

経営目標:経常収支比率、医業収支比率、繰越欠損金の縮減等

- 第5 その他業務運営に関する重要事項
 - 1 人事に関する計画
 - (適正配置、働き方改革、業績や社会情勢などを踏まえた人事・給与制度の検討等)
 - 2 施設整備・修繕に係る計画の検討